港区探訪

バックナンバー

No.1を訪ねて

第1回
庭園デザイナー
石原 和幸さん

世界一、日本一、世界初など、「No.1」と認められた実績がある、港区で働く人物や場所を紹介する新企画がスタートします。第1回はガーデニングの本場、英国のチェルシーフラワーショーで3年連続「No.1」に輝いた石原和幸さんを訪ねました。

3年連続ゴールドメダル受賞の偉業達成！「港区を中心に東京をジャングルにしたい」

23歳から花屋を始め、現在では世界的な庭園デザイナーとして活躍する石原和幸さんが、花と緑の世界に飛び込んだきっかけ。

若い頃、モトクロスの選手を目指していましたが視力が足りずに断念し、地元長崎の企業に就職しました。
ある日、幼少期を過ごした自然豊かな里山を懐かしく思い、軽い気持ちで生け花を始めたのですが、たった3本の花で人を感動させる世界を創れることに衝撃を受けました。
それで、23歳で脱サラして花屋に。29歳で始めた路上花屋が人気になり、店舗を持ちたいと思うようになりました。
そこで目を付けたのが自販機が置いてあるスペース。たった一畳ほどのスペースを借りてそこを店舗とし、2年間で長崎県内に30店舗を構えました。
路上花屋を始める前は、県内の花の消費量は全国で下位の方でしたが、2年後には消費量日本一になったので、一役買えたかなと。その後、九州から仙台まで80店舗を展開しました。

花屋からガーデニング世界一へ。新たな目標につながった父のひとこと。

花屋の全国展開をしていた頃、父親が末期がんになりました。3ヶ月間看病しましたが、亡くなる前に「ありがとう、楽しかった」と言って旅立ったんです。
その言葉を聞いて、はっとしました。当時、店舗は増えましたが、すべての店に目が届くわけではありませんでした。
「今のままでいいのか。僕は花が好きだったよな。今、本当に人から必要とされていることをしているのかな」と。
目標を見失っていたんですね。それから花の教室を開き、直接人に会って生け花などを教えるようになりました。
同じ時期に依頼を受けて庭を造ったのですが、とても喜んでもらえた。これがきっかけでガーデニングの世界に踏み込んだのです。
そのうち、どうせやるなら世界一を目指したいと思うようになりました。そんなとき、ガーデニングの本場、英国に「チェルシーフラワーショー」があることを知りました。参加費の5000万円は半分しか集まらず、それでも、無我夢中で英国に飛びました。
初出場でシルバーギルト（2位）は快挙と、地元メディアに騒がれましたが、日本ではまったく話題にならず悔しかった。やっぱり一番になりたいと再度挑戦し、3年連続でゴールドメダルを受賞、エリザベス女王にも謁見しました。

緑の森のようなお店を港区に出した理由。

僕はデザインとは説明が要らないものだと思っています。見た瞬間に写真に収めたくなる、そんな作品をつくりたいんです。
南青山にある「flower＆cafe風花」は、とにかく都会に森をつくりたかったという一念からプロデュースしたものです。
花や緑の存在って人の心を豊かにしますよね。そのためにはひとつふたつの花ではなくてジャングルにする。身近なところに緑があって、気軽に親しんで欲しい。
いろいろな人がほっとできる公園のような場所になればと思っています。

花と緑に囲まれてリラックス。
店内の緑はすべて購入可能です。

世界から人が集まるような「花と緑の東京」に。

僕は、夢を人に言い続けることにしています。言わないと叶わない。
世界一になったときもそうで、最初は馬鹿にされたけれど夢が叶いました。
今の目標は、東京をもっともっと緑にすること。それこそ、ビルも道路もトンネルもすべて緑でいっぱいにしたい。そうすれば、「東京はすごい！ 一度でいいから見に行きたい」と世界中から観光客が訪れるでしょう？ そういう街づくりをしたいんです。
港区は緑が多いほうだと思いますが、まだまだ足りない。
朝は鳥の声で目覚める、ジャングルのような街にしたい、本気でそう思っているんです。
最終的には、花と緑でノーベル平和賞をとりたい。
いつか叶うと信じていますよ（笑）。

石原さんが手がけた結婚式場「青山フェアリーハウス」の外壁。

石原さんを知る3つのポイント

[1]緑に親しんだ幼少期

昭和33年、長崎県長崎市に生まれた石原さん。
夏はホタルが舞い、秋にはトンボが空を銀色に染めるような自然豊かな里山で幼少期を過ごしました。
村全体がひとつの家族のような温かい場所だったそうです。

プロフィール：大学卒業後、生け花「池坊」に入門。花の路上販売を経て、庭師に。花や緑を通して、日本人のアイデンティティを発信するアーティストとして精力的に活動している。
（株）石原和幸デザイン研究所 代表。

[2]歴史ある英国のガーデニングショーで世界一に！

英国王立園芸協会が主催する世界最古のガーデニング＆フラワーショー「チェルシーフラワーショー」。
石原さんは2004年の初出展でシルバーギルトメダルを受賞。
さらに06年～08年には、3年連続ゴールドメダル受賞という快挙を成し遂げました。

英国チェルシーフラワーショー2006 金賞
「青嵐−aoarashi−」

英国チェルシーフラワーショー2007 金賞
「雲庭−untei−」

英国チェルシーフラワーショー2008 金賞
「緑の扉−midori no tobira−」

[3]事務所もジャングル！

石原さんの東京事務所もまさにジャングル！
さまざまな草花が部屋を埋め尽くしています。
事務所のマスコット、リスザルのフロールちゃんとヨーロッパコノハズクのフーちゃんも居心地がよさそう。

flower＆cafe風花／Bar風花

石原さんプロデュースの「flower＆cafe風花」は、季節の花や緑に囲まれたほっとする場所。
ランチやお茶が楽しめるだけでなく、店内の植物はすべて購入することができます。
店内の花屋さんでは花束やアレンジメントも受け付けています。
夜になるとお酒の飲める「Bar風花」に。花や緑に癒やされながらゆっくりとお酒や食事を楽しめます。
また、月に数回、花教室を開催。石原さん自らが教える生け花教室や寄せ植え教室が人気です。

flower＆cafe風花／Bar風花

港区南青山3-9-1アブリム1F
東京メトロ 表参道駅より徒歩5分
TEL. 03-6659-4093
HP http://www.kaza-hana.jp/

●営業時間
花屋：9:30〜19:00
Cafe：10:00〜18:00、Lunch：11:00〜16:00
Bar：19:00〜24:00（Barのみ日・祝定休）

▲このページのトップへ

｜個人情報保護について [PDF]｜

Kissポート財団
(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)
港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぷらざ
電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884
お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp

Kissポート財団について

ISO 9001
ISO 14001
JQA-QMA12663
JQA-EM4580

たいせつにしますプライバシー
10861140(03)

このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。
当財団の許可なく複製、転載は出来ません。